

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【公開番号】特開2020-43561(P2020-43561A)  
 【公開日】令和2年3月19日(2020.3.19)  
 【年通号数】公開・登録公報2020-011  
 【出願番号】特願2019-161908(P2019-161908)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 W 80/02 (2009.01)

H 0 4 W 4/40 (2018.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 92/18

H 0 4 W 80/02

H 0 4 W 4/40

H 0 4 W 72/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月8日(2020.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器(UE)の方法であって、

サイドリンク無線ベアラ(SLRB)に関連付けられた論理チャネルで、まさに第1のPDCP(Packet Data Convergence Protocol)PDU(Protocol Data Unit)を受信することと、

部分Reordering\_Windowおよび前記まさに第1のPDCP PDUのSN(Sequence Number)に基づいて第1の状態変数を初期化することであって、前記第1の状態変数は、前記SLRBのために作成されたPDCPエンティティによって上位レイヤに引き渡された最後のPDCP SDU(Service Data Unit)のPDCP SNを示し、該部分Reordering\_WindowはReordering\_Windowより小さい、初期化することと、

前記第1の状態変数を使用して、前記まさに第1のPDCP PDUに対して再オーダリング手順を実行することと、を含む方法。

【請求項2】

前記第1の状態変数は、前記まさに第1のPDCP PDUのPDCP SN ≥ 前記部分Reordering\_Windowである場合、前記まさに第1のPDCP PDUのPDCP SN - 前記部分Reordering\_Windowに設定される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の状態変数は、前記まさに第1のPDCP PDUのPDCP SN < 前記部分Reordering\_Windowである場合、前記まさに第1のPDCP PDUのPDCP SN + 前記Reordering\_Window + 前記部分Reordering\_Windowに設定される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記部分Reordering\_Windowは、1 / 2 Reordering\_Windowである、請求項1に記載の方

法。

【請求項 5】

前記Reordering\_Windowは、PDCP SN空間の半分である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記Reordering\_Windowは、32768である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の状態変数が、Last\_Submitted\_PDCP\_RX\_SNである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

サイドリンク無線ベアラ(SLRB)に関連付けられた論理チャネルで第 2 のPDCP PDUを受信することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 のPDCP PDUのPDCP SNが前記第 1 の状態変数以下の場合、前記第 2 のPDCP PDUに対して前記再オーダリング手順を実行して、前記第 2 のPDCP PDUを破棄することをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 2 のPDCP PDUのPDCP SNが前記第 1 の状態変数より大きい場合、前記第 2 のPDCP PDUに対して前記再オーダリング手順を実行して、前記第 2 のPDCP PDUのPDCP SDUを記憶する、あるいは前記第 2 のPDCP PDUのPDCP SDUを上位レイヤに引き渡すことをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

ユーザ機器(UE)であって、  
制御回路と、

前記制御回路に設けられたプロセッサと、

前記制御回路に取り付けられ、プロセッサに結合されたメモリと、を含み、

前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたプログラムコードを実行して、

サイドリンク無線ベアラ(SLRB)に関連付けられた論理チャネルで、まさに第 1 のPDCP(Packet Data Convergence Protocol)PDU(Protocol Data Unit)を受信することと、

部分Reordering\_Windowおよび前記まさに第 1 のPDCP PDUのSN(Sequence Number)に基づいて第 1 の状態変数を初期化することであって、前記第 1 の状態変数は、前記SLRBのために作成されたPDCPエンティティによって上位レイヤに引き渡された最後のPDCP SDU(Service Data Unit)のPDCP SNを示し、該部分Reordering\_WindowはReordering\_Windowより小さい、初期化することと、

前記第 1 の状態変数を使用して、前記まさに第 1 のPDCP PDUに対して再オーダリング手順を実行することと、を行うように構成されている、UE。

【請求項 12】

前記第 1 の状態変数は、前記まさに第 1 のPDCP PDUのPDCP SN ≥ 前記部分Reordering\_Windowである場合、前記まさに第 1 のPDCP PDUのPDCP SN - 前記部分Reordering\_Windowに設定される、請求項 11 に記載のUE。

【請求項 13】

前記第 1 の状態変数は、前記まさに第 1 のPDCP PDUのPDCP SN < 前記部分Reordering\_Windowである場合、前記まさに第 1 のPDCP PDUのPDCP SN + 前記Reordering\_Window + 前記部分Reordering\_Windowに設定される、請求項 11 に記載のUE。

【請求項 14】

前記部分Reordering\_Windowは、1 / 2 Reordering\_Windowである、請求項 11 に記載のUE。

【請求項 15】

前記Reordering\_Windowは、PDCP SN空間の半分である、請求項 11 に記載のU

E。

【請求項 16】

前記Reordering\_Windowは、32768である、請求項11に記載のUE。

【請求項 17】

前記第1の状態変数が、Last\_Submitted\_PDCP\_RX\_SNである、請求項11に記載のUE

。

【請求項 18】

前記プロセッサが、サイドリンク無線ベアラ(SLRB)に関連付けられた論理チャネルで第2のPDCP PDUを受信することをさらに行うように構成されている、請求項11に記載のUE。

【請求項 19】

前記プロセッサが、前記第2のPDCP PDUのPDCP SNが前記第1の状態変数以下の場合、前記第2のPDCP PDUに対して前記再オーダリング手順を実行して、前記第2のPDCP PDUを破棄することをさらに行うように構成されている、請求項18に記載のUE。

【請求項 20】

前記プロセッサが、前記第2のPDCP PDUのPDCP SNが前記第1の状態変数より大きい場合、前記第2のPDCP PDUに対して前記再オーダリング手順を実行して、前記第2のPDCP PDUのPDCP SDUを記憶し、あるいは前記第2のPDCP PDUのPDCP SDUを上位レイヤに引き渡すことをさらに行うように構成されている、請求項18に記載のUE。